

# 教育委員会に関する事務の管理 及び執行状況の点検及び評価報告書

(令和4年度実績)

## —目 次—

I	はじめに	……	1
II	教育委員会の点検及び評価の実施方針	……	3
III	教育委員会会議等の点検及び評価	……	6
IV	基本目標及び事業の点検及び評価	……	10
V	教育費の決算	……	42
VI	学識経験者の意見（総評）	……	43

令和5年9月

土岐市教育委員会

# I はじめに

## (1) 点検及び評価について

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、土岐市教育委員会では、事前に教育委員会が立てた基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックすることなど、その活動を充実するように努めてきました。

こうした中、平成19年6月に公布された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成19年法律第97号）において、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務づけられました。

また、この点検及び評価に関することは、教育に関する事務の管理及び執行の基本方針に関することと同様に、教育長に委任することができないこととされました。

### 根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）  
第26条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

このことを受けて、土岐市教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を「教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書」としてとりまとめ、住民の代表である議会に提出し、公表することにより、市民への説明責任を果たそうとするものであります。

## (2) 点検及び評価の基本的事項

- 教育委員会は、毎年、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検及び評価を行うこととし、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことが法律で規定されました。

土岐市教育委員会では、令和5年度に令和4年度の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめ市議会に提出し、教育委員会ホームページで公表を行います。

- どのような方法で点検及び評価を行うか、また報告書の様式、議会への提出方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて決定することになります。

土岐市教育委員会では、平成22年度までは、第五次土岐市総合計画をベースに、平成23年度（平成22年度実績）からは、平成22年に策定した土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」をベースに点検及び評価を行ってきました。令和3年度からは、令和2年度に策定した第2次教育振興基本計画を基に点検及び評価を行います。

- 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、点検及び評価の客観性を確保するためのものです。活用の仕方については、評価の方法や結果について、教育に関し学識経験を有する者の意見を頂く機会を設けることなどが考えられます。このことについては、各教育委員会の創意工夫により対応することになります。

土岐市教育委員会では、土岐市教育委員会の点検及び評価に関する有識者設置要綱（平成21年土岐市教育委員会告示第1号）に基づき、教育に関し学識経験を有する者の中から有識者（2人以内）を委嘱し、意見を頂くことにしています。

## Ⅱ 教育委員会の点検及び評価の実施方針

### 1 趣 旨

- ・土岐市教育委員会は毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- ・点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

### 2 実施方法

- (1) 第2次土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」をベースに、「第2章 基本計画」を対象とした点検及び評価を行う。

#### 土岐市教育委員会の基本計画

【学び合い】社会を切り拓いていく資質・能力を育成する	
1-1	確かな学力の育成
1-2	多様な学びを支援する教育の充実
1-3	豊かで健やかな児童生徒の育成
1-4	教職員の資質・能力の向上
1-5	安全・安心な教育と体制の整備・充実
1-6	幼保特別支援の推進
1-7	就学前教育の充実
1-8	幼保一体型施設の適正配置
【支え合い】家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる	
2-1	家庭教育を学ぶ機会の充実
2-2	学びと交流を深めるPTA活動への支援の充実
2-3	青少年の健全育成の推進
2-4	児童の安全・安心な居場所となる放課後教室の充実
2-5	公民館等を活用した生涯学習の推進
2-6	地域の教育力の向上と絆づくりの推進
2-7	図書館を活用した生涯学習の充実

【いきがい】ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる	
3-1	文化芸術活動の支援
3-2	文化財の保存・活用の推進
3-3	郷土の歴史・文化の継承
3-4	スポーツ活動の機会の充実
3-5	スポーツ団体の育成・活動支援
3-6	スポーツ施設の適切な整備と運営

#### 評価の目安

評価指標	評価内容
A	達成している
B	概ね達成している
C	あまり達成しているとはいえない
D	達成していない
—	評価なし (新型コロナウイルス感染症拡大防止等により事業中止等)

#### 令和4年度の実績

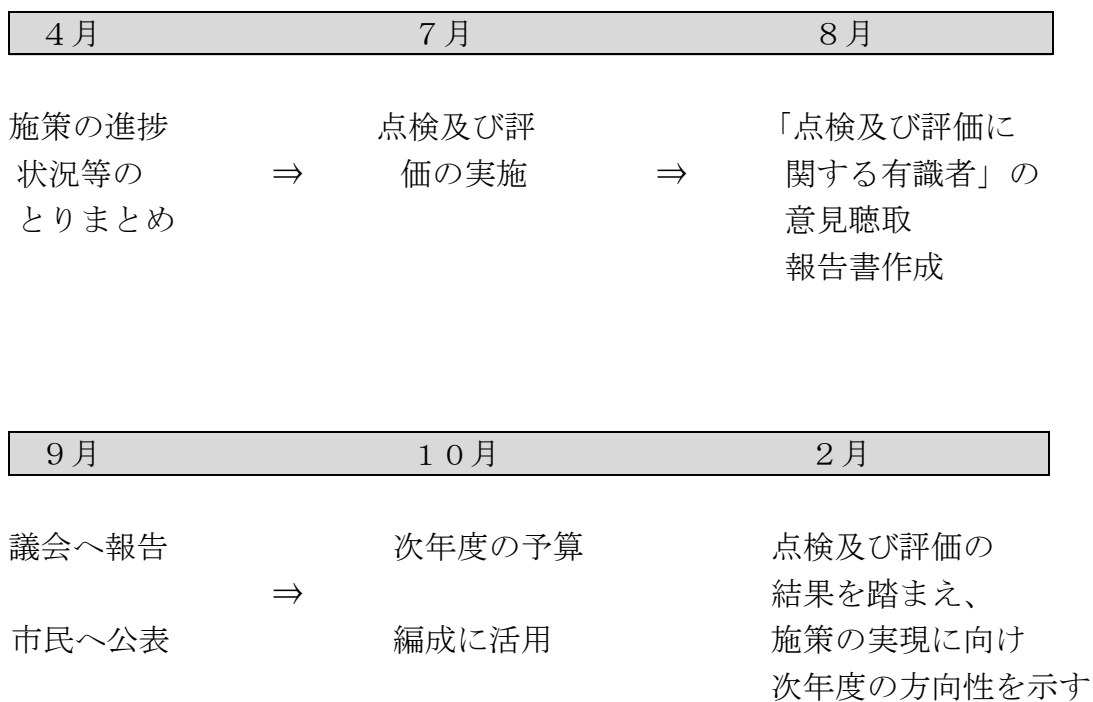
施策実現のために実施した事業などの実績等を示す。

#### 課題と今後の取組み

令和4年度の実績等から見えてきた施策実現に向けた課題と、それを解決するための今後の取組みを示す。

- (2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、毎年1回実施する。
- (3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を頂き、教育委員会において点検及び評価を行う。
- (4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「土岐市教育委員会の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）」を置く。
  - ①有識者は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。
  - ②有識者の任期は2年とする。
- (5) 教育委員会において、点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を土岐市議会へ提出する。また報告書は公表するものとする。

### 3 点検及び評価の流れ



### Ⅲ 教育委員会会議等の点検及び評価（令和4年度）

区 分	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会 会議の実施 状況	開催回数：定例会議 12回 臨時会議 2回  審議件数：議 案 23件 (内 専決報告 8件) 可決した議案 23件 報 告 14件 その他教育長報告 12回  傍聴者数 0人  会議録の公開 会議録承認後ホ ームページにて公開	<成果> 定例会においては、教育委員会の歳入歳出予算、条例・規則等の例規、人事案件等の議事案件（次頁）について慎重審議し、円滑で適正な教育行政の運営ができた。 <課題> 教育行政について市民に広く周知するため引き続きホームページにて取組みや対応状況の情報発信について充実を図っていく。
活動の状況 等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（教育長訪問に同行、随時訪問）</li> <li>・学校行事への出席</li> <li>・教育関係のイベントへの出席</li> <li>・市町村教育委員会連合会研究総会に参加</li> <li>・市内教育施設の現場確認</li> <li>・東濃西部教育委員研修協議会</li> <li>・総合教育会議（部活動の地域移行について）</li> </ul>	<成果> 先進的な取組みをしている学校や教育施設などの教育現場に赴き、担当者の生の話や実態を直接見聞きすることにより、より具体的な実態把握や意見交換、意思疎通が図られ、今後更に推進していくことと改善を要することが明確になった。 <課題> 継続的に教育現場や先進地の視察、研修参加等の検討を行い、本市の教育行政の課題や改善点をより明確にしてい

## 令和4年度土岐市教育委員会提出議案等について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案
第4回定例会	4月25日	議第15号 専第4号 報第4号	専決処分の報告及び承認について 市職員の人事異動について 土岐市会計年度任用職員の任用、学校運営協議会委員等の委嘱等について
第5回定例会	5月23日	議第16号  議第17号 専第5号  議第18号 専第6号  報第5号	令和4年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置について 専決処分の報告及び承認について 令和3年度土岐市一般会計補正予算（第18号）のうち教育費に係る予算について 専決処分の報告及び承認について 令和4年度土岐市一般会計補正予算（第1号）のうち教育費に係る予算について 土岐市教育振興基本計画推進・点検委員会委員等の委嘱等について
第6回定例会	6月21日	議第19号 専第7号  議第20号  報第6号	専決処分の報告及び承認について 令和4年度土岐市一般会計補正予算（第4号）のうち教育費に係る予算について 土岐市図書館館内改修業務事業者選定委員会設置要綱について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第7回定例会	7月21日	議第21号  報第7号	令和5年度使用小・中学校用教科用図書の採択について 土岐市会計年度任用職員の任用、土岐市図書館館内改修業務事業者選定委員会委員の委嘱等について
第8回定例会	8月22日	議第22号 専第8号  報第8号	専決処分の報告及び承認について 令和4年度土岐市一般会計補正予算（第6号）のうち教育費に係る予算について 土岐市会計年度任用職員の任用について



第9回定例会	9月26日	議第23号 議第24号 議第25号 報第9号	土岐市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について 土岐市教育委員会が管理する公共施設に係る土岐市公共施設予約システムの利用に関する規則の一部を改正する規則について 教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第2回臨時会	10月3日	—	土岐市教育長職務代理者の指名について
第10回定例会	10月18日	報第10号	土岐市会計年度任用職員の任用、学校歯科医の委嘱について
第11回定例会	11月28日	議第26号 専第9号 報第11号	専決処分の報告及び承認について 令和4年度土岐市一般会計補正予算（第8号）のうち教育費に係る予算について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第12回定例会	12月26日	議第27号 報第12号	土岐市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について 土岐市会計年度任用職員の任用、学校運営協議会委員の委嘱について
第1回定例会	1月26日	議第1号 報第1号 報第2号	令和4年度二宮文化賞の授与について 令和4年度土岐市教育文化賞の授与について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第2回定例会	2月27日	議第2号 議第3号 議第4号 専第1号 議第5号 専第2号 報第3号	土岐市歴史民俗資料館管理規則の一部を改正する規則について 土岐市図書館障がい者郵送貸出サービス実施要綱の一部を改正する告示について 専決処分の報告及び承認について 令和5年度土岐市一般会計予算のうち教育費に係る予算について 専決処分の報告及び承認について 令和4年度土岐市一般会計補正予算（第11号）のうち教育費に係る予算について 土岐市会計年度任用職員の任用について
第1回臨時会	3月7日	議第6号	県費負担教職員の人事異動内申について

第3回定例会	3月17日	議第7号	土岐市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について
		議第8号	土岐市文化財保存活用拠点（仮称）新築工事設計業務委託業者選定委員会設置要綱について
		議第9号	土岐市文化財保存活用拠点（仮称）展示・収蔵環境等設計業務委託業者選定委員会設置要綱について
		議第10号	土岐市通学路における防犯カメラの設置及び運用規程の一部を改正する訓令について
		報第4号	令和5年度土岐市学校教育の方針と重点について
		報第5号	土岐市会計年度任用職員の任用について

## IV 基本目標及び事業の点検及び評価

### 基本目標1【学び合い】

#### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-1 確かな学力の育成

具体施策	◆「土岐市幼稚園・こども園、小・中学校教育の方針と重点」の具現	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中学校とが中学校卒業時の願う姿を共有し、小中間の児童生徒・職員の交流や教育情報の相互理解、交流によって9か年を通してきめ細かな指導を行います。</li> <li>・保育園・幼稚園・こども園と小学校との交流による相互理解と連携を通して、小学校への円滑な接続と発達段階に応じたきめ細かな指導を行います。</li> <li>・学校訪問(教育長訪問・研究所訪問・推進訪問への同行)を実施します。各学校や各園の研究や実践に対して指導・助言を行い、研究や実践の質を高めます。</li> <li>・土岐市研究指定校(園)を指定し、今日的課題に対して先進的に研究実践を重ねて、その成果を広く小・中学校に広めます。特に、「小学校外国語教育」については、グローバル社会に対応する力を身に付けることができるよう、ALT(外国語指導助手)の活用の充実を図り、コミュニケーション能力や他国の文化を理解して多文化共生社会に対応できる力を養います。また、ICT機器を積極的に活用したプログラミング教育を推進しながら、児童生徒の情報活用能力を向上させます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市研究推進指定園・学校に指定証を交付し、附属幼稚園や小中学校への教育長訪問等を通して取組状況を把握し、指導助言を行った。また、市教委ミニ訪問を実施し、全ての小中学校を2回以上訪問して学校課題に関わる取組の進捗状況を確認した。</li> <li>・感染症拡大防止の対策を講じながら、土岐津中学校、泉中学校及び駄知中学校区の指定校発表会と肥田中学校区の間接報告会を行った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各訪問や視察を通して「土岐市教育の方針と重点」を踏まえた指導・助言を実施し、各園・校の研究推進を図る。</li> <li>・中学校区の連携を強化し、今日的課題を中学校区で捉え解決していく、指定校による体制の構築を図る。</li> <li>・保幼小の接続に関わる連携を強化する。</li> <li>・年度末に「土岐市の方針と重点」の具現状況を評価し、次年度の取組を見直す。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆基礎・基本の確実な定着	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校において、各教科の基礎・基本を定着していくための時間を設け、繰り返し学習をしたり授業の補充を行ったりしながら、確実な定着をめざします。</li> <li>・「土岐市スタンダード授業」を確立し、基礎・基本が確実に定着できるよう授業改善に取り組みます。</li> <li>・土岐市版「家庭学習の手引き小学校版・中学校版」の活用によって、家庭学習を充実します。</li> <li>・「きめ細かな学校支援事業」により、支援を要する児童生徒への支援を充実します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会を中心に、各学校の教職員の実践的指導力の向上をめざして「土岐市スタンダード授業」を踏まえた授業改善を行った。</li> <li>・各学校でNRT(学習指導要領に準拠した標準学力検査)を実施し、学力の経年傾向を分析して日々の授業改善を図った。</li> <li>・学校支援員を適切に配置し、児童生徒の学習を支援した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通して確実な学力の定着が図られるよう、学力向上推進委員会を通して市内小中学校に働きかけ、授業改善の推進を図る。</li> <li>・タブレット型端末の効果的な利活用を推進し、授業改善や支援を要する児童生徒の支援及び家庭学習の充実を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとするができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

基本施策	1-2 多様な学びを支援する教育の充実
------	---------------------

具体施策	◆キャリア教育の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や希望をもって努力し続ける大切さを学ぶことができるように、引き続き「夢の教室」を実施します。</li> <li>・勤労観や職業観を育む日常活動や体験活動を充実させます。</li> <li>・「児童生徒能力開花応援事業」によって、興味・関心のある専門的な分野の知識や技能を学び、自らの可能性を広げます。</li> <li>・「中学校キャリア教育推進事業」によって、自分の生き方や職業観を見つめ直す機会をもちます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢の教室(小学5年生)」については、今年度、対象学年を小学校5年生に戻し、各校オンラインで実施した。</li> <li>・各中学校において職業講話を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度も、従来通り、小学校5年生を対象とした「夢の教室」を実施する。感染症拡大の状況に応じて、オンラインによる実施を検討する。</li> <li>・「児童生徒能力開花応援事業」の各講座は、感染症拡大対策を講じた集合型の講座、もしくはオンラインによる実施を計画する。</li> </ul>		
担当課	教育総務課・教育研究所		

具体施策	◆特別支援教育の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の児童生徒のニーズに応じた支援体制を整えます。</li> <li>・個別の支援計画を作成し、関係諸機関との連携を図った教育を進めます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人のニーズに応じた支援を効果的に実施するため、「個別の教育支援計画」を作成・活用し、特別支援教育の充実を図った。</li> <li>・幼稚園、こども園、保育園に教育支援委員会の資料として、新たな様式として小中学校の個別の教育支援計画を作成依頼し提出いただくことで、支援方針や情報の共有を図った。</li> <li>・特別な支援を要する子どもたちの背景には、家庭環境の課題があるため、教育相談アドバイザーが福祉等の関係機関との連携を図り、教育支援を行った。</li> <li>・「きめ細かな学校支援事業」として発達障がいのある児童生徒に対しての支援員の配置をし、個別の支援を行った。</li> <li>・教育支援委員会は、予定通り年2回の実施をした。</li> <li>・特別支援教育連携協議会及び特別支援コーディネーター研修会を各2回実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体との連携が図られてきており、支援体制が充実してきている。</li> <li>・一人一人のニーズに応じた教育の実現に向け、幼児期から就業までを見据えて、学校と保護者、関係機関が連携を密にするよう、さらに努める。</li> <li>・就学前からの一貫した特別支援教育の取組とともに、相談窓口の周知方法や一本化について、方法を検討していく。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

具体施策	◆外国人児童生徒教育の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市外国人児童生徒学校適応支援事業」によって、日本語指導と生活習慣の確立を支援できるように、外国人児童生徒が多数在籍する学校に支援員を派遣します。</li> <li>・初期指導教室を整備するとともに、支援員への指導・助言を行う外国人児童生徒コーディネーターを配置し、学校生活への適応指導や日本語指導などの就学支援を充実させていきます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市外国人児童生徒学校適応支援事業」によって、日本語指導と生活習慣の確立を支援できるように、外国人児童生徒の支援が必要な学校へ支援員を派遣した。支援員を派遣したことで個別指導がより確かになり、児童生徒一人一人に着実に力をつけることができた。</li> <li>・初期指導教室を肥田中学校パソコン室に開室し、日本の生活への適応と日常会話の習得を図った。外国人児童生徒コーディネーターを配置し、月毎に各学校を訪問することを通して、学校の実態を把握し、課題について解決できるように指導、助言を行った。教育委員会内で、担当者会を2か月に一度行い、適応支援の充実を図った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期指導における事前準備および学習指導の在り方など市内各学校へ共有できる仕組みを構築する。そのためにも市教育委員会と各学校との連携を強化していく必要がある。</li> <li>・外国人児童生徒指導に関する、教職員の資質向上のため研修の充実を図る。</li> <li>・個別最適化の観点から、外国人児童生徒に対する支援として、タブレット端末の効果的な利活用を推進する。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとするができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-3 豊かで健やかな児童生徒の育成

具体施策	◆人権教育の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・こども園、小・中学校における「ひびきあい活動」の取組を充実します。</li> <li>・人権教育に関わる教職員の研修を充実します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園、こども園及び小・中学校において、人権教育における行動力の育成を目指し、「ひびきあいの日」を中心に継続的な取組を実施した。すべての園及び学校のひびきあい活動の実践の記録や成果をまとめた報告書を作成し、発行した。</li> <li>・人権教育主任研修会について、専門的な講師を招き集合型で研修を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園、こども園、及び小中学校において、人権教育における行動力の育成をめざし、「ひびきあいの日」の継続的な取組が充実するよう働きかけていく。また、ひびきあいの日の実践報告による審査において、受賞した学校の功績を市内に広め啓発を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆道徳教育の充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の授業の充実を図るとともに、学校で行うすべての教育活動によって道徳性を育みます。</li> <li>・道徳教育、道徳科の授業に関わる教職員の研修を充実します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土岐津中学校区(5月)、及び駄知中学校区(9月)の道徳教育計画訪問を実施した。</li> <li>・道徳教育の指導力向上を目指し、道徳教育推進教師と次年度道徳計画訪問開催校の教職員向けの専門的な大学講師による研修を実施した。</li> <li>・望ましい人間関係を築く力が向上できるよう、各学校において道徳科の授業の充実や中学校区において「1家庭1ボランティア」の取組が実施され、豊かな心を育むことの具体的な取組がなされた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳計画訪問においては、授業実践と、年間指導計画や他教科との横断的連携について見届けるとともに、「中学校区で育てたい資質・能力」に基づく実践の成果を市内に広げていく。</li> <li>・「1家庭1ボランティア」の活動をはじめ、全教育活動を通して豊かな心を育む道徳教育の推進を図る。</li> <li>・道徳教育の指導力向上を目指し、道徳教育推進教師及び次年度道徳計画訪問開催校の教職員に対して、専門的な大学講師による研修を計画する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆学校図書館の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本に親しみ、読書を通して豊かな心を育むために、学校図書館の環境を整えます。図書館司書の配置等により、読書紹介や新刊の紹介、テーマに合わせたおすすめ本のコーナーの設置など、身近に本がある環境を整備し、本を手にする習慣が身に付くよう読書指導を充実させます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての学校に学校図書支援員を配置し、中学校区で連携しながら学校図書館の環境整備を進めた。</li> <li>・学校の図書館と、土岐市電子図書館の貸出しにかかわる手続きを、各校で同一のバーコードでできるようにした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、学校図書支援員を中学校区に1人ずつ配置ができるようにし、中学校区の小中学校間の連携をさらに推進する。</li> <li>・学校の図書館教育に関わり、市内先進校の見学や研修会を計画する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆体力づくりの充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果を生かして、学校の授業や休み時間等における指導を改善し、体力の向上をめざします。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を講じて、各校で体力テストを実施した。</li> <li>・全小学校において、3・4年対象のACP(アクティブチャイルドプログラム)の授業と、教職員向けの研修会を実施し、ACPを取り入れた体育授業の充実を図った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や小学校において、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れた体育の授業の充実を図る。</li> <li>・体力テストの結果や運動にかかわるアンケートから実態を分析し、学校生活における体力向上の取組や指導方法の工夫改善を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆健康教育の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体位・健康の状況、内科・歯科検診の結果を生かして、心身ともに健康な体になるように、保健指導を充実させます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診については感染対策を行い、学校や関係機関と連携し、予定通り児童生徒および職員の健康診断を実施することができた。</li> <li>・学校生活の中における感染予防について、学校職員と共通理解を図り、校内における感染症拡大防止に努めることができた。また、相談体制を築くことでコロナ禍における心の不安をケアするように努めた。</li> <li>・個々の児童生徒の心身の健康問題の解決に向けて、自分の健康問題に気付き、理解と関心を深め、自ら積極的に解決していこうとする自主的、実践的な態度の育成が図れるように指導した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等における保健学習や特別活動等における保健指導と関連を図って、健康教育をさらに充実させていく必要がある。</li> <li>・感染症予防に関する教育の推進を図る。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

具体施策	◆食育の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の学習を生かして、児童生徒が考えた献立を給食で実施します。</li> <li>・給食に関わる人とのふれ合いを通して、食を大切にできる力を育成します。</li> <li>・学校での様々な学びと食をつなげ、望ましい食生活を実践する力を育成します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ときげんきっ子給食事業(愛称:とき健幸給食 児童生徒への公募で決定)月に1回、健康で元気になれるメニューを提供し、食に関して興味関心を持ち、健康に過ごすための食事について理解を深めてもらうため新規の事業を実施した。月1回(8月除き11回) また、中学生の夏休みの研究として料理を募集し、応募のあった料理を実際のときげんきっ子給食で採用した。(1名/全校)</li> <li>・学校給食センター探検隊の開催(参加者111名)を前年度の1回から2回として実施した。</li> <li>・栄養教諭の教室訪問の実施(151クラス)</li> <li>・担任及び教科担任と連携した食に関する指導の実施(79回)</li> <li>・家庭の食育マイスターの献立提出率が前年度比で2%上昇し94%となった。作成した献立を実際の給食で採用(1献立/校)</li> <li>・ふれあい給食の実施 地元生産者の方々が小学校3年生の学級を訪問し、給食に提供している食材についての話をした。(8校)</li> <li>・中学校卒業記念品贈呈事業 中学校3年生に、卒業記念品として美濃焼茶碗を贈呈し、3月に郷土料理と地元の食材を使用した給食を提供した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ときげんきっ子給食の実施日については学校で位置づいてきているため、今後は給食や資料など媒体の効果的な活用方法について検討していく。</li> <li>・給食センター探検隊は、開催日数を増やしたことで参加人数が増えた。給食センターを知ってもらうことにより、食に興味を持ってもらえるよう継続していく。</li> <li>・栄養教諭の教室訪問や担任及び教科担任と連携した食に関する指導は、定着しつつあるため継続していく。</li> <li>・「GIFU食のマイスタープロジェクト」を活用することにより、栄養教諭を中核とした食育を継続していく。(食育マイスター)</li> <li>・中学校卒業記念品事業を継続していく。</li> </ul>		
担当課	給食センター		

具体施策	◆安全で確実なアレルギー対応食の提供	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全なアレルギー対応食を提供します。</li> <li>・教職員によるアレルギー対応を確実に実施します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	実施日数 給食実施日201日中、アレルギー対応食145日 実施品目 卵61品、乳44品、落花生7品、ごま84品 対象人数 57名		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤食等の事故が無いよう、引き続き安全確保を最優先としたアレルギー対応食を提供していく。</li> <li>・令和5年度より、アレルギー対応食提供の開始学年を「小学校2年生」から「小学校1年生」へ拡大する。</li> <li>・教職員による、アレルギー対応を確実に実施する。</li> </ul>		
担当課	給食センター		



## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-4 教職員の資質・能力の向上

具体施策	◆経験年数や職務に応じた研修、今日的課題に対応する研修の充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「各種主任研修会(道徳・人権・図書等)」「サマーセミナー」を充実します。</li> <li>・指導力向上を図るために、「教職員パワーアップ講座」を開催し、今日的課題に応じた教員・講師研修を実施します。</li> <li>・「教育実践論文」「実践記録」を募集し、研究実践を奨励するとともに、優れた実践研究を顕彰します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「各種主任研修会(道徳・人権・図書等)」については、感染症対策を講じて実施した。</li> <li>・夏季の「サマーセミナー」及び「教職員パワーアップ講座」については、感染症対策を講じながら、内容に応じて参集型又はオンラインで実施した。</li> <li>・「教育実践論文」「実践記録」については例年通り募集し、研究実践の奨励・顕彰を行った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種主任研修会及びサマーセミナーについては、今後も感染症対策を講じて計画する。感染症拡大の状況や内容に応じてオンラインでの実施を検討する。</li> <li>・教職員指導力向上にかかわっては、今日的課題を踏まえたテーマで研修内容を計画する。テーマに即し、専門性のある講師を招いた講話を企画し、教職員の指導力の向上を図る。</li> <li>・実践論文・実践記録については例年通り募集する。表彰式についても集合型で実施する。なお、感染症の拡大状況に応じて分散型の表彰などを検討する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆授業や学級を組織していく力など、実践的指導力を高める研修の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会にて「土岐市スタンダード授業」を作成して、指導改善の重点化を図り、OJT研修を充実させることで、一人一人の教師の指導力の向上と授業の質の向上を目指します。</li> <li>・大学をはじめ各関係諸機関との連携を図り、専門性を高める教員研修を開催します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会において「土岐市スタンダード授業」にかかわる授業改善の力点を検討し、今年度の重点を決定した。「終末の姿の具体化と課題提示の工夫改善」を重点に置き、市内全小中学校で実践した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の各学校の実践、成果と課題を踏まえ、令和5年度の市の力点を示し、各小中学校で実践を進め、報告書に取りまとめる。</li> <li>・大学や高専と連携し、プログラミング教育やオンライン授業の推進を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆広報活動の充実	評価	A
項目	・教職員に提供する教育・指導に関する情報を掲載している「教育とき」をさらに充実させます。		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、小中学校職員、教育関係機関に対して2か月に一度「教育とき」を配付してきた。今年度より、紙媒体による配付とタブレット端末へ配信をしている。</li> <li>・各学校だけでなく、幼稚園・こども園の教育実践や研究活動等を広く紹介することを通し、教育実践力を高める場となった。</li> <li>・土岐市の教育に関わる各界・各層との連携を強めることができた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市の方針と重点」の具現を目指し、教育実践力の向上を図るための情報や各種事業の成果、教職員の視野を広げ資質を高める情報をバランスよく掲載し提供する。</li> <li>・教職員がどんな情報を求めているのか、アンケート等で把握する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所		

具体施策	◆働きやすい職場環境づくりの推進	評価	B
項目	・教職員の働き方についての意識を改革し、働きがいのある職場づくりを推進することを通して、子どもと向き合う時間を十分に確保できるよう管理職の学校経営に必要な資質・能力と教職員一人一人のタイムマネジメント能力の向上に努めます。		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で管理職を中心に働き方改革を推進し、時間外在校等時間を月45時間以内、年間360時間内を目標として取り組んだ。退校時間を19時とし、退校時間を過ぎるときには、事前に申請を出している。時間外在校等時間が月に45時間を超えた場合は、管理職との面談のもと事後検証を行っている。職員一人一人が勤務時間を意識するようになり、時間外在校等時間が月45時間以上の職員の割合が小中平均16.9%(12月末)になった。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外在校等時間を月45時間以内、年間360時間内を目標とし、学校における業務改善に継続的に取り組む。また、見通しをもって個々の職員に対する指導を行い、タイムマネジメント能力の向上を目指す。</li> <li>・教職員の負担を軽減するため、スクールサポートスタッフや学習指導員の効果的な活用を図る。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-5 安全・安心な教育と体制の整備・充実

具体施策	◆不登校の未然防止と迅速で組織的な対応	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土岐市不登校対策協議会を設置し、学校や「土岐市教育相談適応指導教室（浅野教室）」、関係諸機関との連携を図りながら、取組や対応を充実させます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育相談適応指導教室（浅野教室）」を中心に、市や各校の担当者と連携を図ったりしながら、教育相談体制の充実を図ることができた。</li> <li>・各校において、スクールカウンセラー等との連携を通して、支援方法の具体を職員間で共通理解し、組織的な対応を進めた。</li> <li>・土岐市不登校連絡協議会を実施し、各学校の状況を把握し、不登校や不適応の兆候がみられる児童生徒や保護者に未然防止や早期支援につなげる支援についての助言を行うことができた。</li> <li>・悩みや不安を抱える児童生徒のため、市の教育相談窓口継続的に紹介した。相談があった児童生徒には、学校や他機関と連携して支援につなげる事ができた。</li> </ul>		
課題（今後の方向）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめや不登校対策としては、子どもと関わる関係諸機関と連携して、特に未然防止に取り組む。</li> <li>・各学校では魅力ある学校生活づくりと安心安全な児童生徒の居場所づくりを重点に進める。具体例として、子ども一人一人の状況を丁寧に把握する定期調査の実施や、スクールカウンセラーや教育相談員の配置の充実、土岐市教育相談適応指導教室の活用等を通して、教育相談体制の充実を図る。</li> <li>・家に引きこもるなど欠席が長期化している児童生徒については、本人と保護者との合意形成を図り、共通理解のもと支援を行う必要がある。</li> <li>・不登校児童生徒や不適応児童生徒に対する学習支援を充実させ、評価の仕方について見直しをする。</li> </ul>		
担当課	教育研究所・教育総務課		

具体施策	◆いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査やアンケート、面談等を通して、子どもが発信するサインを素早く把握し、情報の共有やケース会議の充実を図り、組織的に対応します。</li> <li>・土岐市いじめ問題対策連絡協議会を関係諸機関及び団体との連携を図りながら開催し、土岐市いじめ防止基本方針に基づいて取組や対応を充実させます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法的根拠に基づく組織的な対応ができるよう、各校のいじめ防止基本方針の見直しと改善を図った。</li> <li>・いじめ事案について、学校で対応した報告を義務付け、適切な対応ができるよう指導、助言をした。</li> <li>・軽微な事案も確実な把握と早期対応ができるよう生徒指導主事会を通じて各学校へ対応の仕方を確認した。</li> <li>・いじめにかかわる児童生徒の相談機関の拡充を図るため、相談窓口について市内全児童生徒へ年2回周知した。</li> <li>・心のアンケートや生活アンケートなど、早期発見に資する定期的な実態把握の機会を増やした。</li> </ul>		
課題（今後の方向）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的に早期の学校対応ができるよう職員研修を充実する。</li> <li>・多治見警察署、岐阜地方法務局多治見支局、弁護士等との連携強化を図る。</li> <li>・子どもと関わる関係諸機関と連携し、未然防止を図るための校内体制を構築する。</li> </ul>		
担当課	教育研究所・教育総務課		

具体施策	◆教育相談体制の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市教育相談適応指導教室(浅野教室)」を核として、各学校の教育相談コーディネーターを中心に、教育相談員、学校内適応指導教室相談員、スクールカウンセラー、スクール相談員が連携し、組織的な体制づくりを図ります。</li> <li>・教育相談員と教育相談コーディネーターの資質の向上と、校区内の情報交換や関係諸機関と連携を図ることができるように、「いじめ・不登校対策事業」を推進し、教育相談員研修会を充実させます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーやスクール相談員と連携し、組織的な学校の対応ができる体制づくりを推進した。</li> <li>・浅野教室、生徒指導担当主幹教諭との協議会を定期的にもち、情報を共有した。夏休みに各中学校区の生徒指導主事との協議会をもち、学校の対応についての助言を行った。</li> <li>・市の教育相談窓口について市内全児童生徒へ年2回紹介した。相談員研修会を年2回実施した。</li> <li>・全小中学校において、児童生徒がSOSの発信を促すための授業を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーやスクール相談員、及び校内適応指導教室相談員との連携を強化し、悩みや不安をかかえる児童生徒の早期発見と組織的な支援を充実する。</li> <li>・生徒指導主事会を通して、教育相談体制に関わる連携の充実を図る。</li> </ul>		
担当課	教育研究所・教育総務課		

具体施策	◆学校施設の整備・充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の施設及び設備について、長寿命化を見据えながら経年劣化による老朽化を改修していきます。</li> <li>・タブレット等のICTを活用した教育を推進し、さらなる教育環境の充実を図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校特別教室等空調機器整備工事、土岐津中学校北舎外壁改修工事、土岐津小学校プール改修工事、濃南中学校屋内運動場川側法面・排水路復旧工事、肥田小学校屋内運動場器具庫外壁改修工事、土岐津中学校屋内運動場暗幕取替工事、市内8小学校AED屋外設置工事を実施した。</li> <li>・土岐市ICT企画委員会、推進連絡会を年6回開催しICT利用について協議・調整をした。また、令和5年度版の教職員の指導の手引書を作成した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根・屋上、外壁の劣化状況詳細調査の結果を基に、長寿命化計画の見直しを行い、営繕計画を行う必要がある。</li> <li>・引き続き、市ICT企画委員会、連絡協議会を定期的に行い、教職員の研修、効果的な利活用、プログラミング教育等にかかわる協議・調整を図る。また、手引書の見直しを行う。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

具体施策	◆危機管理体制の充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全を確保するために、「通学路交通安全プログラム」や「登下校防犯プラン」に基づいて、学校や保護者、地域、関係諸機関と連携した取組を推進します。</li> <li>・子どもが自然災害時に適切な判断をし、対処する力を身に付けるよう、「防災教育」を推進するとともに、災害の発生を想定し、子どもの安全を確保するための「安全管理」を充実させます。また、すべての学校で「危機管理マニュアル」の改善を図り、地域・家庭・学校などが組織的な防災訓練を行うなど、地域としての防災対策に取り組みます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全を確保するために、「通学路交通安全プログラム」「登下校防犯プラン」に基づいて、学校や保護者、地域、関係諸機関と連携して行った。</li> <li>・市内小中学校において「危機管理マニュアル」の改善を図り、組織的な防災訓練を行うなどして防災対策に取り組み、実施報告も終了した。</li> <li>・避難確保計画作成の対象となっている小中学校について、作成、点検が終了した。</li> <li>・通学路防犯カメラを西陵学校区・肥田学校区に、それぞれ3台設置した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携を密にし、各学校における「危機管理マニュアル」を核とした計画、実施、評価が一体となった防災対策を推進していくこと。</li> <li>・児童生徒が主体となって自らの安全や地域の安全について考え、行動できる力を培う安全教育を推進していくこと。</li> <li>・通学路防犯カメラ設置校区を拡張していく。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

具体施策	◆家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある学校づくりを推進するために、市内全小・中学校に学校運営協議会を設置(「コミュニティ・スクール」)します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小・中学校に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクール化を図った。年に2～3回の学校運営協議会を実施し、コロナ禍においても学校を支援をする活動が増えた。</li> <li>・コミュニティ・スクールアドバイザー派遣事業を実施し、助言をもとに、コミュニティ・スクールを推進した。</li> <li>・学校運営協議会実践交流会を実施し、委員による熟議の場を設けた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実態に合わせた部会の設定や活動内容を検討する。</li> <li>・コミュニティ・スクールアドバイザー派遣を継続する。</li> </ul>		
担当課	教育総務課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-6 幼保特別支援の推進

具体施策	◆特別支援体制の整備	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援のための研修を幼稚園・こども園の全ての職員に対して実施します。</li> <li>・「保護者支援(ペアレント・トレーニング)」に向けた体制づくりのため、幼稚園・こども園に配置する特別支援コーディネーターの育成を進めます。</li> <li>・園職員、保護者、発達支援相談員、土岐市発達支援検討チームの連携を強化し、支援児に対する個別の指導計画及び教育支援計画に沿った支援を行います。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため、今年度も全職員参加の特別支援のための研修はできなかったが、参加職員を絞って研修を実施し、個別の支援計画を作り役にたった。</li> <li>・言語聴覚士による発達相談に行ったことや、他の機関との連携に力を入れたことで、保護者支援に役立つことができた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、支援コーディネーターの育成にかかる研修を計画的に実施していく。</li> <li>・ペアレントメンター(=良き助言者のことで、先輩の保護者が、新しく参加する保護者に対して、これまでの子育てで経験を活かし、気持ちに寄り添い、共感し、地域の情報を提供したりするなど、同じ「親」という立場で応援する者。)を数多く作り、子育てに自信を持つ保護者を増やすため、幼児療育センターでペアレントトレーニングを開催していきたい。</li> </ul>		
担当課	子育て支援課		

具体施策	◆小学校との連携の充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「CLM」を基にした指導計画を作成し、小学校担当者との連携を進めます。</li> <li>・発達支援相談員と小学校の教育相談コーディネーターとの双方向の訪問(巡回相談、教育相談)により連携を強化します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に園の巡回相談、夏休み中に教育支援相談会を実施し、就学前の一貫した特別支援教育の推進ができた。</li> <li>・小学校の教育相談コーディネーターとの連携を強化するために、巡回相談、教育相談会以外にも幼稚園、小学校訪問の回数を増やし、子どもの様子を観察した。</li> <li>・就学にあたっての引き継ぎでは、CLMを基にした指導計画を話し合いの材料として活用した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人のニーズに応じた教育の実現に向け、幼児期から就業までを見据えて、学校と保護者、関係機関が連携を密にするよう、さらに努める。</li> <li>・小学校担当者がCLMについて知識が不足していることから、CLMの指導計画が引き継ぎ書として有効活用されていないことが多くある。継続して子どもを観ていくためにも、CLM研修に参加し理解を深めてもらう。</li> </ul>		
担当課	教育総務課・子育て支援課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-7 就学前教育の充実

具体施策	◆幼児教育の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・幼稚園・こども園の「アプローチカリキュラム」に基づく保育を充実させます。</li><li>・園と小学校間において授業・研究会などの交流を図り、資質向上に資する研修を実施します。</li></ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・各園アプローチカリキュラムを作成して保育の充実を図った。</li><li>・中学校、小学校、幼稚園、保育園の長が集まって交流を図り、連携することができた。</li></ul>		
課題(今後の方向)	コロナ禍ではあるが、職員の資質向上のため、公開保育、研修会、講演会等の参加は必要であり、研修内容の精査や実施の手法の検討を図りながら、実施する必要がある。		
担当課	子育て支援課		

## 基本目標1【学び合い】

### 未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成す

- ・主体的に社会変化に対応し、夢や願いをもって自らを高めようとする事ができる
- ・みんなで学び合うことの楽しさを知り、人と関わり合う中で課題を解決することができる

#### 基本施策 1-8 幼保一体型施設の適正配置

具体施策	◆こども園化の推進	評価	A
項目	・泉地区の市立いずみ保育園において幼稚園機能を追加し、幼保連携型こども園として建て替えを進めます。		
令和4年度の実績	整備工事等を順調に実施し、令和5年度の泉こども園を開園することができた。		
課題(今後の方向)	(課題) ・第2期子ども子育て支援計画に基づいて、既存園舎の活用も視野に入れ、各地区(町)での、こども園化を進める必要がある。		
担当課	子育て支援課		



## 基本目標2【支え合い】

### 家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-1 家庭教育を学ぶ機会の充実
------	------------------

具体施策	◆家庭教育・子育て支援の情報提供	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児までの子をもつ親を対象に、子どもの発達段階や子育てのポイントを学ぶことができる「あすなる家庭通信」を発送し、ホームページに掲載します。</li> <li>・親や子育てを支援する人に向けた発達段階に応じた子育てのポイントをアドバイスする冊子「土岐市の家庭教育『子育て・親育ち特集』」(平成31年4月発行)を活用し、内容の見直しを図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>あすなる通信 1～3ヶ月、6ヶ月、1、2、3歳のお子さんを持つご家庭に、各月齢に応じたお子さんへの接し方のアドバイス情報を郵送にて提供するとともに、同じ情報を市HPでも提供していることもPRして、母親らの子育ての悩み解消や孤立防止を図っている。毎月70通ほど発送しており、就労などで乳幼児学級などに出られない母親や父親にも子育て情報を提供している。</p> <p>一方、コロナ禍において、様々な事業が中止となった事により、乳幼児学級を始めとする子育ての事業において「子育て・親育ち」の冊子の活用が十分に行うことが出来なかった。</p>		
課題(今後の方向)	<p>(課題) 他部署においても、子育て関連の事業を行っており連携を図ることがより効果的である。</p> <p>〈今後の方向性〉 今後も引き続き家庭教育・子育て支援の情報提供としてあすなる通信を発行する。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆子育て講座の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児までの親子を対象に、年間を通して子育ての講話や交流、親子の絆を深める体験ができる「乳幼児学級『てくてく』」を実施します。</li> <li>・乳幼児期からの家庭教育の充実を図るために、父親、母親がともに学ぶ「子育て講座」を実施します。</li> <li>・幼稚園、小・中学校の家庭教育学級担当者に、研修や実践交流の機会を提供します。</li> <li>・小学生の親を対象に、子育ての役割や大切さを学ぶ「みんなの子育て講座」を実施します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>【乳幼児学級】「親が子育てについて学ぶ場」、「親の仲間づくりの場」の提供を目的に、「乳幼児学級てくてく」という名称で実施している。0～1歳をひよこ組、2～3歳をうさぎ組として、それぞれ4学級、計8学級に合計40組の申し込みがあった。夏季に新型コロナの感染が拡大したが、講座自体は中止せず、出・欠席を参加者が自主的に判断し実施した。</p> <p>【子育て講座】 年度末に各小学校で行われる新小学1年生の保護者を対象とした説明会の場に外部講師を招いて、この時期に重要な子育てにまつわる講話を予定していたが、コロナ禍で時間短縮のため、中止になった。</p> <p>【家庭教育学級】 幼稚園6園、小学校7校、中学校5校、小中学校1校それぞれで開級している。それぞれの家庭教育学級を保護者が務める学級長が主催し、学びの場の提供、保護者同士の交流の場づくり、親子のふれあいの場づくりのための各種活動を年間を通じて行い、子育てを学ぶとともに親育ちも目指している。本年度は、コロナ禍であったが全体交流会も年度初と年度末に実施した。</p> <p>【家庭教育担当者研修会】 5月に予定されていた県主催の東濃地区家庭教育リーダー研修会は、新型コロナの影響で、恵那総合庁舎を主会場としたサテライト形式で行った。土岐市に於いては、文化プラザ第5研修室で市内全ての公立幼稚園及び小中学校の家庭教育委員長と教頭を交えて実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 子育て講座等の活動への父親の参加が少ない。</p> <p>〈今後の方向〉 毎年好評を得ている乳幼児学級てくてくの開催や各種講座を継続しながら、父親が参加する機会を提供していく。 コロナ禍であっても、情報交流の機会を設けることができるように家庭教育学級の開催方法を工夫していく。</p>		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-2 学びと交流を深めるPTA活動への支援の充実
------	---------------------------

具体施策	◆土岐市PTA連合会の活動に対する支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てや家庭教育に関する今日的課題について学ぶ研修会やワークショップ、また、各校のPTAの組織、運営、活動内容についての情報交流、意見交流の場を提供し、PTA活動の充実や課題の改善を図ります。</li> <li>・土岐市PTA連合会の運営体制や活動内容に対して助言や支援をします。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>本年度は、新型コロナ禍であったが、役員会や実行委員会を計画通り開催し、「参加してよかった」と感じてもらえるよう、情報提供や交流の時間をもつようにした。特に、10月の実行委員会では、市の政策推進課や子育て支援課等の職員を交えて「子育てしやすいまちづくり」と題して、交流を行った。各単Pの役員選出の困難さや負担軽減についてが話題となった。</p> <p>家庭教育学級は、「レッツ コミュニケーション～やさしさと自信を育む”よいころみつけ”～」とし、2回の研修を行った。第1回目の研修では、長谷川優氏を講師に招き「脳科学に基づいた子どもの脳の発達に沿った最新の子育て法と才能の見つけ方」と題し、講演会を開いたところ50名の参加者があった。第2回目の11月には、父親も参加しやすい「親子で謎解き体験」を実施したところ、159名の親子の参加があり、父親の姿も多くみられた。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 PTA連合会役員の選出が困難となっている。</p> <p>〈今後の方向〉 PTA活動の大切さを周知すると共に、役員の負担の軽減を図る。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆幼稚園、小・中学校のPTA活動に対する支援の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、小・中学校のPTA活動やPTA家庭教育学級に対して、活動内容や実施の仕方の指導・支援をします。(講師紹介・企画助言・補助金等)</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>単P家庭教育委員の負担軽減を図るために、同地区で行われる研修会と合同開催を提案した。市P連及び各校の家庭教育学級への補助金事業は例年通り実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 役員の負担の軽減。</p> <p>〈今後の方向〉 PTA活動の大切さを周知すると共に、役員の負担の軽減を図る。 コミュニティスクールと地域学校協働活動の両方をうまく組織できるような働きかけをしていく。</p>		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

### 基本施策 2-3 青少年の健全育成の推進

具体施策	◆青少年の健全育成を推進する各団体の活動支援	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市青少年育成市民会議」の活動を推進し、各町青少年育成会の活動を高めます。</li> <li>・親子のふれあいや子どもの豊かな体験の場をつくる「土岐市子ども会連合会」の運営や活動の支援をします。</li> <li>・子ども会活動の遊びや活動を支援し異年齢の交流を深める「ジュニアリーダー」を育成します。</li> <li>・実行委員会の企画・運営による「成人式・二十歳(はたち)の集い(仮称)」を開催し、成人としての自覚と地域社会の中で夢を実現する決意、周囲への感謝の気持ちを育みます。</li> <li>・有害図書や有害玩具、携帯電話等取り扱っている店への立入調査を実施し、青少年の健全育成のための環境づくりに努めます。</li> <li>・少年センター指導員による声かけ活動を推進し、青少年の健全育成に努めます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>【土岐市青少年市民会議総会】3年ぶりに小学生・高校生も対象とした青少年の主張大会を実施した。7月、11月の青少年育成の強調月間に合わせ、市全体であいさつデー、街頭啓発などを実施した。</p> <p>【土岐市子ども会連合会活動】親子で楽しむ木工教室、インリーダー研修会を実施した。「GINO CON」の代わりに「プログラミング体験会」を企画・実施した。</p> <p>【ジュニアリーダー活動】定例会を実施し、インリーダー研修会、春の研修会の準備やゲームの練習を行っている。今年度は3年ぶりに地域からの派遣要請もあり、行事の運営に協力した。</p> <p>【土岐市二十歳を祝う会】感染防止対策を徹底するため、保護者の入場は不可としたが、式典はアトラクションも実施するなど通常どおり開催した。</p> <p>【有害図書等立ち入り調査】7月と11月の青少年育成の強調月間に合わせ実施した。</p> <p>【少年センター声掛け活動】コロナ禍ではあったが通常どおり実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 各種団体の役員の人で、市外に勤務するなど時間の制限がある人も多く、さらに後継者がいない状況。</p> <p>〈今後の方向〉 それぞれの活動について、会議の回数の見直しや活動のやり方等も含めて見直し、効率的・効果的に青少年健全育成への意識を高める。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域の各団体のネットワークの形成支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域や団体の連携をコーディネートし、地域活動を指導・助言する社会教育委員の研修や交流などの充実を図ります。</li> <li>・青少年育成に係る各種団体の情報や交流の機会を提供し、様々な啓発活動や行事に互いに協力し合えるネットワークづくりを推進します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>コロナ禍ではあったが、Zoomで社会教育委員の研修会に参加するなど、おおむね予定通り開催できた。市民会議が実施となり、青少年育成会長会、青少年育成推進員研修会も実施できた。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 各地域や団体の連携が必要という意識はあっても、これまで多くの活動が中止になっていたため、取組方のイメージができなかった。 コーディネーターを誰が担うかが明確になっていない地域が多い。</p> <p>〈今後の方向〉 各種団体の連携や情報交流を支援する。 地域学校協働活動にかかわる研修会への参加を呼びかけ、コーディネーターとしての人材を育成する。</p>		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-4 児童の安全・安心な居場所となる放課後教室の充実
------	-----------------------------

具体施策	◆放課後教室の運営体制と環境の整備	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に安全・安心な活動場所を確保し、指導員・支援員を配置します。</li> <li>・学習活動や環境、児童・保護者の状況についての情報を交流し、協力し合うなど、小学校との連携を強化して、運営と指導の向上を図ります。</li> <li>・指導員の資質・指導力向上を目指した研修を実施します。</li> <li>・各教室の防災計画を作成し、命を守る訓練を実施します。</li> <li>・安全で衛生的な環境づくりのための定期的な点検と計画的な修繕を行います。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>感染症対策を徹底し学校と連携を密にしながら運営を行った。                      延長利用制度が始まり、必要とする方に適切なサービスを提供できた。                      指導員研修は、密を避けながら県が主催するオンライン形式の研修に参加した。                      各教室のパソコンのセキュリティ対策を実施し、インターネットに接続し業務の効率化を図った。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉                      多様化する保護者のニーズを把握する必要がある。                      〈今後の方向〉                      保護者のニーズを的確に把握し、保護者に寄り添った制度にしていく。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆異年齢交流や豊かな体験学習の場としての活動の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の異学年交流をはじめ、夏休みに高校生や大学生、地域の方々を臨時指導員として配置して、子どもが様々な人とふれ合い、活動や交流ができるようにします。</li> <li>・地域の人材や団体と連携して豊かな体験ができる「チャレンジデー」を実施します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>夏休みは、高校生、大学生、地域の方に臨時指導員、支援員として活躍していただいた。                      チャレンジデーについては、感染対策を徹底したうえで、ほとんどの教室で実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉                      支援員の登録数が減ってきている。                      〈今後の方向〉                      支援員を増やす取り組みもしくは支援員に頼らない運営方法を模索する。</p>		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

### 家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策 2-5 公民館等を活用した生涯学習の推進			
具体施策	◆生涯学習体制・指導者の充実	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の公民館どうしのネットワークを生かし、情報や実践を交流して活動の連携や充実を図ります。</li> <li>・各公民館講座を通して、社会教育関係団体、指導者の育成を図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	各地区の行事はコロナの影響により中止や縮小をしたが、感染対策を行うことで開催できた行事もあった。予定どおり公民館長会・主事会を開催し、研修や情報交換などを行うことが出来た。公民館講座を通して、社会教育関係団体への加入者や、新規登録があった。		
課題(今後の方向)	<課題> コロナ禍で各地区の行事が中止や縮小されたため、活動に対する引継ぎができていない事から継続した開催ができなくなることが危惧されている。 公民館講座の講師のなり手が減少しているため、講師となる人材の養成をする必要がある。 <今後の方向性> 引き続き公民館を中心として、地域の団体の活動に対しての支援を行っていく。 各公民館で行った講座について情報交換を行い、市民のニーズにあった講座を行うことによって、社会教育関係団体や指導者の育成につなげる。		
担当課	生涯学習課		
具体施策	◆公民館講座・市民大学講座等の充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域、各公民館の特色を生かした多様なジャンルの講座やイベントの充実を図ります。</li> <li>・市民のニーズを把握し、学びの場を提供します。</li> <li>・専門的知識を有する大学教授、研究者等による「市民大学講座」を実施し、市民の学習の機会を提供します。</li> <li>・高齢者大学「はなの木大学」の運営や講座に対する助言・支援を行い、高齢者のいきがいつくりの場の充実を図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	公民館主催の講座においても、コロナの影響で縮小した講座もあったが、市民のニーズに合った多様なジャンルの講座を実施できた。 市民大学講座は、周知方法を工夫し、各回定員を超える応募者があり、計画どおり4回開催することができた。 予定どおりはなの木大学役員会・運営委員会を開催し、運営に対する助言・支援を行った。		
課題(今後の方向)	<課題> 生涯学習指導者バンクの市民の活用が少ない。 コロナの影響もあり、はなの木大学の学生数が減少している。 <今後の方向性> 公民館講座や講師などの情報を共有しながら各公民館で特色のある多種多様な講座を開催する。 はなの木大学について、ウィズコロナ、アフターコロナに合わせた運営方法を検討する必要がある。		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆安全・安心な公民館施設	評価	B
項目	・公民館施設の計画的な点検、整備を行います。		
令和4年度の実績	肥田公民館の空調更新、市内公民館の非常灯蓄電池取替など予算計上した整備は計画的に実施した。		
課題(今後の方向)	<課題> 老朽化による修繕箇所が増加している。また、突然の故障による緊急修繕も増加している。 施設の老朽化に伴い、長寿命化のため計画的な改修が必要だが、財政的課題等により計画どおりの改修が進まず先送りになっている。 <今後の方向> 引き続き利用者の安心・安全を第一とした改修、修繕を計画的に実施する。		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域の学びの場としての活用	評価	B
項目	・公民館に地域の学習室的機能をもたせ、長期休業中の児童生徒の学習室として活用します。 ・各公民館と市立図書館をつなぐ環境整備を進めることにより、本を身近に感じ、本を手にする機会を増やし、読書率の向上に努めます。		
令和4年度の実績	夏季休暇中に市内公民館を無料開放し、子ども達の学習の場として提供することができた。地域文庫の課題について推進室内で協議を開始した。		
課題(今後の方向)	<課題> 学習室機能を持たせることはできたが、活用促進を図る必要がある。 地域文庫は周知不足や魅力に欠けるなどから利用が少ない。 <今後の方向> 活用促進を検討しながら、引き続き長期休業中の学習室の開放を実施する。 「土岐市読書活動推進計画」に沿って、地域文庫の有効的な運営方法を探る。		
担当課	生涯学習課		

## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策	2-6 地域の教育力の向上と絆づくりの推進
------	-----------------------

具体施策	◆「地域づくり型生涯学習」の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活動する団体の学びを生かし広める活動(「アウトリーチ活動」)を推進します。</li> <li>・公民館活動や地域の行事に参画することを通して、互いに「あてにし、あてにされる」つながりをつくり、地域への愛着が深まるまちづくりの活動を支援します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	鶴里公民館で活動している「aina ohana」が濃南小学校放課後教室へ出向き、フラダンスについて学ぶ場を子供たちに提供することができた。公民館で活動している団体が地域の行事に参加し、地域の活性化への活動に貢献した。		
課題(今後の方向)	<課題> 公民館で活動している団体が個人の学びにとどまっている。 <今後の方向性> 自身の学びを地域に還元する地域づくり型生涯学習活動を推進していく。		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域と学校との連携・協働による活動の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小・中学校(校区)に学校運営協議会を設置(「コミュニティ・スクール」)するに伴い、地域と学校が連携・協働して子どもの成長を支援する活動を推進します。また、地域や学校、諸団体に対し、研修や情報交流の機会の提供を行います。</li> <li>・地域における中学生、高校生、大学生の活躍の場をつくり出し、ボランティアや地域活動への参画を推進します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	新型コロナの影響により中止されていた地域行事が再開し、地域でのボランティア活動の受け入れが増えてきた。地域と学校の連携・協働に関わる人たちへの研修会参加を呼びかけ、推進への意識の向上に努めた。		
課題(今後の方向)	<課題> 学校と地域の間で願いや目指す姿を共有する意識の弱さがあり、これまで多くの行事が中止であったため活動を知る人が少ないこともあり、地域によっては、学校からの要請には協力的であるが積極的に学校に関わる事ができていない。 <今後の方向性> 地域と学校が子どもたちを軸に願いや目指す姿を共有する熟議の機会を設けられるように、今後も地域と学校の連携・協働を働きかけていく。		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域を支える組織・団体の活動支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活学校」、青年団体協議会、女性連絡協議会の活動に対する助言や支援をします。</li> <li>・市や各地域、他団体と連携した活動の機会をコーディネートし、アウトリーチ活動を推進します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>各団体に対して、補助金の交付や活動への助言を行った。</p> <p>「生活学校」は、コロナ禍でもできる活動として、廃食用油回収や牛乳パックの回収を行った。</p> <p>「青年団体協議会」は、研修会の実施と「二十歳を祝う会」における受付業務や駐車場整理などの活動を行った。</p> <p>「女性連絡協議会」は、コロナ感染対策を徹底しながら、料理講習会、学習会を実施した。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 各団体とも会員数が減少傾向にある。</p> <p>〈今後の方向〉 団体の存在意義や目的を再確認、見直しをし、新たな活動につなげていく。</p>		
担当課	生涯学習課		

具体施策	◆地域における豊かな体験の場、学習機会の提供	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の文化や歴史、自然、産業などの財産や人材を生かし、将来を担う子どもに、豊かな体験を通してふるさと土岐市のよさを学ぶ「土岐ふるさと塾」を実施します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<p>実施を計画していた「土岐ふるさと塾」を、計画通り3回(下石地区、肥田地区、駄知地区)開催することができた。</p>		
課題(今後の方向)	<p>〈課題〉 参加申込数がとても少なく、実施があやぶまれる講座があった。</p> <p>〈今後の方向〉 見学だけではなく、作品作りなど地域の魅力を体験する活動をできるだけ取り入れる。</p>		
担当課	生涯学習課		



## 基本目標2【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

- ・地域や人とつながり、誰もが安心して学び、活躍できる場をつくることができる
- ・子どもたちの健全な育成や子育てを地域全体で支援することができる

基本施策 2-7 図書館を活用した生涯学習の充実

具体施策	◆乳幼児から学童期、青年期に向けた読書活動の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市子ども読書活動推進計画(第二次)」を踏まえた新たな読書活動推進計画を策定し、家庭・地域・学校が連携して読書活動を推進し、子どもの読書率の向上を図ります。</li> <li>・未来を担う子どもの成長に欠かせない家庭での読書活動を推進するため、読み聞かせ会や読み聞かせ講座、「ブックスタート」などを充実させます。</li> <li>・継続的な支援や図書館利用の促進を図るため、3歳児健診時には、本にふれる機会を増やすための事業を実施します。</li> <li>・学校や地域との連携により、読書習慣を形成・定着化させるため、配本や読み聞かせ、「ブックトーク」などの拡大を図り、また、見学や職場体験の受入れなど、図書館を知る機会の創出を図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市読書活動推進計画」に沿った事業展開(図書館改革プランにある魅力ある図書館に向けての館内改修、取り組むべき課題の解決に向けて自主研修の実施、電子図書館、郵送貸出サービス、青空読書会等)をすることができた。</li> <li>・市内小中学生を対象に「とき読書っこクラブ」を募集し、朗読会と子ども司書講座を実施した。子ども司書講座受講後に子ども司書として認定し、図書館イベントのお手伝いをしてもらった。</li> <li>・毎週土曜日ボランティアによる読み聞かせを行った。0歳児向けの読み聞かせは密になるのを避けるため春と秋に隣接する公園で行った。「ブックスタート」は絵本と手提げ袋のプレゼントは行ったが、健診時の読み聞かせは通年で中止した。</li> <li>・「ブックスタート」の継続事業として、3歳6か月健診時に「ぶっくんノート」を配布し、本を1冊読んだらノートに記入し1ポイントとし、30ポイント貯まったら絵本をプレゼントした。</li> <li>・子どもの成長に応じた読書支援事業として小中学校の学年毎におすすめ図書リストを夏休み前に配布した。</li> <li>・図書館司書による絵本の出張読み聞かせを行った。 濃南小11回、泉小3回</li> <li>・図書の配本を行った。 土岐津小11回、下石小7回、妻木小9回、濃南小8回、駄知小5回、東濃フロンティア1回、放課後教室12回</li> <li>・幼児期、学童期からの図書館利用の促進を図るため、例年多くの学校や幼稚園等の見学を受け入れ、今年度は土岐津小、下石小、妻木小、濃南小、泉小、泉西小、土岐津幼稚園の受け入れを行った。職場体験は東濃フロンティア高校、土岐紅陵高校、東濃特別支援学校高等部の生徒を受け入れた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土岐市読書活動推進計画」に沿って更なる事業展開を行っていく必要がある。</li> <li>・図書館改革プランに沿った改革を継続的に実施する必要がある。</li> <li>・とき読書っこクラブの朗読会や子ども司書講座を継続的に行い、地域や学校での読書リーダーを育成する必要がある。</li> <li>・小中学生対象の活動を活発化させ、そうした活動を学校や地域に繋げて行く取り組みを行う必要がある。</li> </ul>		
担当課	図書館		

具体施策	◆図書館サービスの充実による図書館利用の促進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する市民のニーズに対応できるよう図書資料の充実を図ります。また、図書館や本に親しむ第一歩として、多くの市民に来館いただけるようイベントや各種講座、情報提供の充実を図ります。</li> <li>・施設、書架等の整備を適切に実施し、よりよい読書環境を提供します。</li> <li>・ボランティア活動の支援や地域文庫の充実など、市民や地域と連携したサービスを提供します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料は定期的に書架の入替を行い充実を図ることができた。</li> <li>・読書に親しむためのきっかけ作りとして、図書館の蔵書で役目をおえた本のリサイクル市を図書館隣の公園で開催し、またブック&amp;サイエンスフェスのサテライト会場として本を借りた方にブックバックのプレゼンを行い、多くの来館者があり、図書館の利用の促進につなげることができた。</li> <li>・講座・イベントについて、コロナ禍により中止とした事業もあったが、「図書館でクラシック音楽を」は3年ぶりに開催することができた。</li> <li>・施設の老朽化による整備として、トイレの配管修理や1階カウンター前照明の改修を行った。</li> <li>・読み聞かせや修理等のボランティア活動の支援を行い、地域文庫は定期的に図書の入替を行った。</li> <li>・「土岐市図書館改革プラン」にある取り組むべき課題の解決に向けて、魅力あるレイアウトや安全・安心な図書館とするため、児童コーナーの書架を入れ替えや隣接する公園と一体利用できるようにすることで魅力化を図るとともに、出入口の設置や動線の見直しにより感染対策や危機管理の対応等安全・安心化を図ることができた。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル市、浴衣でおもてなし、おもしろ本大賞、福袋等の開催により、図書館の来館者や貸出が伸び、イベントは有効であると考えられるので今後も引き続き実施する。また、今年度は実施できなかった講座やイベントはコロナ禍の状況にもよるが積極的に行う必要がある。</li> <li>・施設は築44年が経過し、改修の必要な箇所が多くあるが、計画的に行っていく必要がある。</li> </ul>		
担当課	図書館		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切にし、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-1 文化芸術活動の提供・支援

具体施策	◆質の高い文化芸術の提供	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興事業を多様な分野で開催し、質の高い文化芸術を提供します。</li> <li>・芸術普及活動を行い、公演者と地域住民・児童生徒等との交流を深めます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)土岐市文化振興事業団に委託して、「大前光市トーク&amp;ダンスパフォーマンス」の文化講演会、及び「佐渡裕指揮シエナウインドオーケストラ演奏会」等のコンサートを実施した。</li> <li>・セントラル愛知交響楽団管弦楽アンサンブルによるアウトリーチ公演を11月に泉小、12月に濃南中、駄知中で実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシック音楽等の芸術鑑賞事業の充実と鑑賞者の確保、市民のニーズに合わせた事業の展開</li> <li>・市民の新たな文化芸術活動を生み出す事業の展開。</li> <li>・ウイズ・コロナ、アフター・コロナの状況下における事業の実施。</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、多様な分野で芸術を鑑賞し、体験できる機会を提供する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆文化芸術活動の支援	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化プラザを継続的に整備し、文化芸術活動の拠点としての機能を維持します。</li> <li>・美術展、音楽祭、文芸祭等を開催し、文化芸術発表の場を提供したり、顕彰したりします。</li> <li>・新庁舎に整備された土岐フォーラムや文化プラザを活用したイベントを実施します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCBを含有する変電室機器更新工事及びその工事に関連して機械室鋼製建具改修工事等を実施した。</li> <li>・「文芸祭」、「音楽祭」、「文化団体連盟祭」、「プラスの集い」は実施できたが、美術展は予定していた会場が新型コロナウイルスワクチン接種会場となったため中止とした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化プラザ利用者の安全性・快適性を確保するための施設改修の計画的な実施。</li> <li>・ウイズ・コロナ、アフター・コロナの状況下における事業の実施。</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化調査に基づく長寿命化のための維持工事を実施する。</li> <li>・引き続き、「美術展」、「音楽祭」、「文芸祭」、「文化団体連盟祭」、「プラスの集い」を開催する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-2 文化財の保存・活用・保護の推進

具体施策	◆文化財の保存・活用の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体と連携して文化財の保存と活用を図り、市民の地域理解を促進します。</li> <li>・指定文化財の現状等の調査を行い、修復や環境整備を行います。</li> <li>・未指定文化財を含めた市内の文化財を総合的に把握するため、全ての文化財の調査を進めます。</li> <li>・郷土の歴史を体感できる場として、国史跡乙塚古墳や段尻巻古墳の整備を行います。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然記念物白山神社のハナノキ及びヒトツバタゴ環境整備工事(委員会の開催2月)を実施した。</li> <li>・指定文化財の現状確認調査(土岐津町「追沢の宝篋印塔」等市内17件、年2回)を行った。</li> <li>・史跡乙塚古墳附段尻巻古墳第4期工事(委員会の開催8、11、3月)を実施した。</li> <li>・史跡元屋敷陶器窯跡法面復旧工事に伴う発掘調査を実施した。</li> <li>・文化財防火デーに、市内南部指定文化財保管先の訪問・点検を行った。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡、天然記念物の整備と活用。</li> <li>・未指定文化財を含めた市内文化財の総合的な調査と把握。</li> <li>・市内の指定文化財を紹介する「土岐市の文化財」の更新。</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乙塚古墳附段尻巻古墳整備完了による周辺文化施設や史跡等と連携した活用。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆埋蔵文化財保護の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な開発指導を行うために、遺跡地図を整備します。</li> <li>・埋蔵文化財の調査体制を維持し、埋蔵文化財の保護を推進します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法第93条届出50件、第94条通知3件を受理し、適切な開発指導を行った。</li> <li>・開発等が計画された浅野館跡ほか市内各遺跡において、試掘確認調査及び立会調査を実施した。(試掘確認調査5ヶ所7件、立会調査6ヶ所7件)</li> <li>・乙塚古墳附段尻巻古墳の発掘調査報告書を作成した。</li> <li>・(公財)土岐市文化振興事業団へ補助金を交付し、埋蔵文化財調査体制を維持した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細遺跡地図における埋蔵文化財包蔵地の範囲等の見直し</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、現在の埋蔵文化財調査体制を維持し、適切な保護を行っていく。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-3 郷土の歴史・文化の継承

具体施策	◆伝統文化の継承と振興	評価	A
項目	・伝統文化保存団体に対し補助金を交付するなどして、活動を支援します。		
令和4年度の実績	・流鏝馬行事保存会、打囃子保存会、妻木城址の会、中馬馬子唄保存会に補助金を交付し、大坪地区史跡保存会へ文化財環境整備資材を支給した。大坪地区史跡保存会は、長年の活動実績が認められ、第37回二宮文化賞を受賞した。		
課題(今後の方向)	<課題> ・無形民俗文化財の後継者育成と伝承への対応。 <今後の方向> ・引き続き、伝統文化保存団体、文化財保護団体の支援を行っていく。		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆郷土の歴史に関する資料の収集・整理	評価	A
項目	・郷土の歴史に関する資料の収集・整理を行い、次の世代に継承します。		
令和4年度の実績	・古文書史料の読解を行う等、史料整理を実施し、史料集(21号)を刊行した。 ・図書館3階郷土資料室で郷土史調査相談窓口を開設(第2・第4水曜日)した。		
課題(今後の方向)	<課題> ・古文書等を読解できる後継者の確保または育成 <今後の方向> ・文化財保存活用拠点(仮称)整備に向け、現有文書のデータ整理、リスト作成を実施する。		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆美濃陶磁歴史館事業の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美濃焼の歴史や郷土の歴史・文化を学習する場の整備に向け、新施設の建設を検討します。</li> <li>・展覧会や講演会・講座の開催を通じ、美濃焼の歴史や郷土の歴史・文化に対する関心を高めます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に策定した「文化財保存活用拠点(仮)基本構想」を踏まえ、「基本計画」を策定した。</li> <li>・展覧会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展「岐阜県現代陶芸美術館サテライトミュージアム」、収蔵品展「美濃桃山陶」(5月～8月)</li> <li>企画展「中上良子展」、収蔵品展「美濃桃山陶」(8月～11月)</li> <li>企画展「妻木の熊谷吉兵衛―美濃の大陶商「西浦屋」を支えた人―」、収蔵品展「美濃桃山陶」(11月～2月)</li> <li>重要文化財公開「元屋敷陶器窯跡出土品展」、企画展「―乙塚・段尻巻古墳史跡整備完了記念展― 乙塚古墳とその時代」(3月～6月)</li> </ul> </li> <li>・講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>「熊谷吉兵衛の生涯」春日美海氏(美濃陶磁歴史館学芸員)</li> <li>「吉兵衛から円治への手紙を読み解く」岩井美和氏(多治見市学芸員、土岐市文化財審議会委員)</li> </ul> </li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存活用拠点(仮)施設の整備</li> <li>・収蔵品の保管場所の確保と民俗資料等の整理</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土岐市における文化財保存活用のあり方や、調査研究に加えて、ヒト、モノ、コトを結びつけ、にぎわいつながりを生む施設やしきづくりを検討する。</li> <li>・文化財保存活用拠点(仮)施設の設計業務を行う。</li> <li>・引き続き、美濃焼の魅力や郷土の歴史文化を紹介する展示や講演会を行う。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆やきもの文化の振興と情報発信	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募による現代茶陶展を開催し、やきもの文化を広く情報発信します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第14回現代茶陶展の審査、表彰式、展示会の開催をした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>審査:令和4年6月3日(金)</li> <li>表彰式:令和4年8月5日(金)</li> <li>会期:令和4年8月6日(土)～12日(金)</li> <li>応募点数:310点、応募人数:236人</li> </ul> </li> <li>・第15回現代茶陶展の公募、審査、図録作成等の準備をする。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の確実な確保</li> <li>・コロナ禍における公募展のあり方の検討</li> <li>・応募者の確保と公募展のさらなる情報発信</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募展の開催方法を検討し、現代茶陶展を開催していく。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-4 スポーツ活動の機会の充実

具体施策	◆誰もが参加できる体験型イベントの実施	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが参加できる軽スポーツ、レクリエーションの参加機会の充実を図ります。</li> <li>・スポーツフェスティバルを実施し、若年層から高齢層のスポーツ活動への参加を促します。</li> <li>・年齢や障がいの有無に関わらず、誰でもスポーツを楽しめるきっかけづくりに取り組みます。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型イベントであるスポーツフェスティバルを開催し、スポーツに親しむ機会を創出した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> 市民ニーズや各年齢層、障がい者の特性に応じたイベントの開催 <今後の方向> 引き続き、市スポーツ協会、レクリエーション協会と連携してスポーツフェスティバル等の体験型イベントを開催する。		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆市民スポーツ大会・イベントの実施	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ大会の充実を図り、「土岐市スポーツ協会」・各種種目協会の活性化に努めます。</li> <li>・「ロードレース大会」「一周駅伝大会」を継続して実施します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ大会を開催した。開催に当たっては、総合開会式の中止・町対抗の総合成績を取りやめるなど、コロナ禍にあっても実施可能な内容に変更した。土岐市スポーツ協会の各種目協会に対しては強化費を支給して支援を行った。</li> <li>・「ロードレース大会」、「一周駅伝大会」は中止とした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> ・「ロードレース」「一周駅伝大会」への幅広い層からの参加を促す広報活動の強化 ・ウイズ・コロナ、アフター・コロナの状況でのスポーツイベントの開催のあり方の調査・研究 <今後の方向> ・引き続き、土岐市スポーツ協会と協力して市民スポーツ大会を開催する。 ・「ロードレース」「一周駅伝大会」も改善を行いながら引き続き、実施する。		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆生涯スポーツと健康づくりの推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ推進委員会」と連携し、生涯スポーツ事業を推進します。</li> <li>・高齢層世代のコミュニティを形成し、健康づくりを促進します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツ推進事業として、ノルディックウォーキング教室、親子バランスボール教室、親子スポンジテニス教室、森林ウォーキングを実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の参加者増加を図るため、市民ニーズの把握と参加者の声から周知方法の調査・研究が必要。</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室実施後の振返りやアンケート内容の検証などができている。SNSを新たな宣伝ツールとして、情報発信力を強化していく。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆多様なスポーツ交流の推進	評価	-
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼津市とのスポーツ交流を継続して実施し、自主交流を促進します。</li> <li>・スポーツを通じた他地域との交流の拡大や地域の活性化を図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の中学校スポーツ交流、8月のスポーツ少年団交流、10月のスポーツ本交流は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流種目の拡大と自主交流の推進</li> </ul> <p>&lt;今後の方向&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度からは年1回の本交流の中に、中学生交流・スポ少交流を一本化する。</li> <li>・各種目協会の自主交流を支援する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		



## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切にし、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-5 スポーツ団体の育成・活動支援

具体施策	◆スポーツ協会等の活動支援と連携強化	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東濃スポーツ大会」「県民スポーツ大会」の出場を支援し、競技力の向上を図ります。</li> <li>・スポーツ少年団の活動を支援し、青少年の体力向上を促進します。</li> <li>・全国大会等出場者などへのスポーツ顕彰を継続して行います。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東濃スポーツ大会」「県民スポーツ大会」への出場を支援することができた。</li> <li>・市スポーツ協会、各種目協会、レクリエーション協会等の活動を支援した。</li> <li>・スポーツ少年団の活動を支援した。</li> <li>・全国大会出場者などの激励会を実施した。個人68件、団体2件</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東濃スポーツ大会及び県民スポーツ大会での上位入賞</li> <li>・スポーツ少年団の団員増加と活動の活性化</li> </ul> <今後の方向> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市スポーツ協会と連携し、「東濃スポーツ大会」「県民スポーツ大会」の出場や、スポーツ少年団の活動を支援する。</li> <li>・全国大会出場者への顕彰を行う。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆スポーツリーダーの育成	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体の指導者に対する研修を実施し、優れた指導者の育成を図ります。</li> <li>・スポーツ推進委員の指導者・アドバイザーとしてのレベルアップを図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を実施した。</li> <li>・スポーツ推進委員は定例会開催時の自主研修のほか、東濃地区、岐阜県、東海四県の研修会・研究大会に参加した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の資質と能力向上のための指導者研修会の内容の充実</li> </ul> <今後の方向> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の質をさらに高めるために、今後も研修会・研究大会(東濃・岐阜県・東海四県)に積極的に参加していくとともに、ジュニアスポーツ指導者の研修の回数や対象者を増やす。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## 基本目標3【いきがい】

### ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

- ・ふるさとの歴史や文化、スポーツに親しむことができる
- ・文化・スポーツを通じ、人や地域との交流の輪を広げていくことができる

#### 基本施策 3-6 スポーツ施設の適切な整備と運営

具体施策	◆スポーツ施設の利用環境の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土岐市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統廃合も含め、安全・安心な施設運営のために、スポーツ施設の計画的な改修・整備を行います。</li> <li>・学校施設を開放し、スポーツを楽しめる場の提供を促進します。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動センター入口から管理棟までの道路(968㎡)の舗装補修工事を完了した。</li> <li>・駄知体育館のトイレを和式から洋式へ取り替える工事を実施した。</li> <li>・スポーツ施設の安全性を確認するためのチェックリストを作成するとともに、月2回の定期点検を行い、不具合等があれば改修等を実施した。</li> <li>・学校開放使用団体に対する施設の適正利用を指導した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した施設も多く、大規模な改修等が必要。</li> </ul> <今後の方向> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、施設の改修や修繕等を実施し、利用の安全性、利便性を維持する。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

具体施策	◆スポーツ施設受付の窓口サービスの充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の空き状況がホームページで確認できるよう改善を図ります。</li> </ul>		
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用予定者に対して予約システムの周知(窓口・電話)を実施した。</li> </ul>		
課題(今後の方向)	<課題> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の使用料を納入するために利用者の来庁が必要。</li> <li>・システム利用のルールを改善し、システム利用者の公平性維持が必要。</li> </ul> <今後の方向> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済を含め、施設利用者の更なる利便性向上を図る。</li> </ul>		
担当課	文化スポーツ課		

## IV 教育費の決算

款項目	予算額 (円)	決算額 (円)	執行率 (%)
10 教育費	3,122,423,000	2,651,067,395	84.9
1 教育総務費	354,036,000	330,683,430	93.4
1 教育委員会費	2,280,000	1,977,391	86.7
2 事務局費	140,068,000	136,964,966	97.8
3 教育指導費	180,387,000	161,807,091	89.7
4 教育研究所費	31,301,000	29,933,982	95.6
2 小学校費	515,982,000	384,669,590	74.6
1 学校管理費	244,902,000	234,115,113	95.6
2 教育振興費	23,846,000	16,060,439	67.4
3 学校建設費	247,234,000	134,494,038	54.4
3 中学校費	482,808,000	321,570,562	66.6
1 学校管理費	153,127,000	147,278,123	96.2
2 教育振興費	24,337,000	19,367,977	79.6
3 学校建設費	305,344,000	154,924,462	50.7
4 幼稚園費	333,435,000	290,096,909	87.0
幼稚園費	333,435,000	290,096,909	87.0
5 社会教育費	889,849,000	808,231,864	90.8
1 社会教育総務費	52,318,000	49,233,229	94.1
2 文化プラザ費	79,805,041	72,317,521	90.6
3 公民館費	143,503,000	130,039,410	90.6
4 文化振興費	289,081,959	262,671,544	90.9
5 青少年育成費	129,114,000	113,804,438	88.1
6 美濃陶磁歴史館費	32,067,000	30,681,764	95.7
7 図書館費	163,960,000	149,483,958	91.2
6 保健体育費	528,109,000	499,269,040	94.5
1 保健体育総務費	60,255,364	52,860,285	87.7
2 市民体育館費	16,531,636	16,418,213	99.3
3 市営球場費	1,409,000	989,411	70.2
4 体育施設費	42,515,000	39,052,896	91.9
5 総合活動センター費	15,933,000	14,364,620	90.2
6 給食センター費	391,465,000	375,583,615	95.9
7 教育諸費	18,204,000	16,546,000	90.9
1 諸費	18,204,000	16,546,000	90.9

## R 5 土岐市教育委員会の点検及び評価について（総評）

岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇

今年度も、土岐市教育委員会作成の「教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（令和4年度実績）」並びに、関係資料の数々を検討させていただく機会を与えていただいたことに感謝している。

土岐市教育委員会は、土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン（後期計画）」を見直し、土岐市教育大綱を根幹とした令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とした新たな「第2次 土岐市教育振興計画 夢・絆プラン」を策定されており、土岐市が抱えている教育課題解決に対して常に真摯に取り組まれていることに大いなる敬意を表したい。とりわけ「土岐市教育大綱」の基本理念「人との絆の中で ふるさとへの愛着と誇りをもち 夢を実現できる人を育てる土岐の教育」をもとにした3つの基本目標「学び合い」「支え合い」「いきがい」は、コロナ禍を経験し、急速に世の中が変わりつつある中において、ますます重要となる目標と捉えている。

報告書からは、主要な施策や事業の進捗状況を総括し、課題や今後の取り組みの在り方について審議を重ねて成果を出しておられることをしっかり読み取ることができ、市民への説明責任を十分に果たすものであると評価したい。

ここでは、土岐市教育の今後のますますの発展を祈念して、各基本施策の実績と課題から感じることを述べていきたい。

<p style="text-align: center;"><b>基本目標 1 【学び合い】</b> <b>未来社会を切り拓いていく資質・能力を育成する</b></p>
---

### ① 確かな学力の育成

まず、具体施策「土岐市幼稚園・こども園・小・中学校教育の方針と重点」の具現においては、市研究推進指定園・学校に指定証を交付し、附属幼稚園や小中学校への教育長訪問等を通して取組状況を把握し、指導助言をされたこと、さらに市教委ミニ訪問を実施し、全ての小中学校を2回以上訪問して学校課題に関する取組の進捗状況を確認されたことを大いに評価したい。教育委員会がすべての学校現場に2回以上足を運ぶことは、かつて教育委員会に所属した経験からすると、容易にできることではない。教育委員会が、現場を大切にし、直に状況を見聞きし、課題解決策を打ったり、指導助言をされておられたりする状況を想像している。コロナ禍でこれまでにない学校運営を日々迫られていた管理職にとっては心強く、学校づくりを安心して進めることができたであろうと考える。

具体施策「基礎・基本の確実な定着」においては、学力向上推進委員が核となり、土岐市の子どもたちが基礎・基本を十分に身に付けるように、組織的に動いておられることを評価し

たい。他地区では特定の学校のみが成果を上げ、外部、とりわけマスコミから大いに評価を受けることがあるが、教育行政としては望ましいことではない。この意味からも、学力向上委員を任命し、常に市内全体の学力向上を視野に置いた活動を進めておられることは、市民への説明責任を果たす上でも重要なことである。

中央教育審議会は令和3年1月に答申した「令和の日本型学校教育」において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の重要性を示した。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、この「個別最適な学び」と「協働的な学び」はますます重要性を増してきている。今後は、一斉授業型の授業ばかりではなく、子ども個々が自ら計画を立てて、自らが一人で、あるいはグループで学びを進める「自由進度的な学習」の導入も推奨されると考えている。このことを踏まえると、「基礎・基本」の概念に「学び方を学ぶ」ことも加えられることをお勧めしたい。また、このことを学力向上推進委員会での議題として検討されるとよい。

## ② 多様な学びを支援する教育の充実

具体施策「キャリア教育の推進」における「夢の教室」実施を各校オンラインでなされたことは賢明な判断である。コロナ禍が去ったとしても、今回のオンラインで得られた様々な知見は、今後の「キャリア教育」の推進に大いに参考になったことだろう。例えば、オンラインにすることで、ゲストのフィールドがどこであろうとネット上に招聘でき、対面では実現できない彩り豊かなキャリア教育の実現が可能となる。

具体施策「特別支援教育の推進」においては、「個別の指導計画、個別の教育支援計画」の重要性を踏まえ、その計画のもと、個々の状況を踏まえたきめ細やかな教育を進められておられることを評価したい。特別な支援を要する子どもたちの背景をとらえるために、教育相談アドバイザーが福祉等の関係機関との連携をとり、よりきめ細やかな教育支援をされていることは、保護者からの教育行政への信頼を増すことに通じると推測している。

具体施策「外国人児童生徒教育の推進」においては、「土岐市外国人児童生徒学校適応支援事業」によって、日本語指導と生活習慣の確立を支援できるように、外国人児童生徒の支援が必要な学校へ支援員を派遣されているのは特筆すべきことである。まさに個別指導の充実により、日本の教育への適応が図られたことが実績報告から伺える。

なお、「外国人児童生徒教育」に関わって、2023年6月21日に民間有識者によって出された令和臨調に触れておきたい。そこでは、人口減少下で日本社会の未来像を提案する呼びかけがなされている。「もはや少子化対策だけでは日本の急激な人口減少を食い止めきれない」として、「日本社会をますます開かれたものとし、外国出身者を含め、世界の多様な地域から集まった人々が力を合わせ、互いに学び合うことができる環境を整備したい」と謳っている。つまり、外国人の積極的な受け入れを、人口減少への対応策として打ち出している。今後、ますますどの地域においても「外国人児童生徒教育の充実」は不可欠になると予想している。

### ③ 豊かで健やかな児童生徒の育成

具体施策「人権教育の推進」「道徳教育の充実」とも、言うまでもないが教育の根幹をなすものである。

幼稚園・こども園および小中学校において、人権教育における行動力の育成を目指し、「ひびきあいの日」を中心とした継続的な取組、また、昨年度に引き続き、すべての園及び学校からの実践の記録等からまとめた報告書を製本し発行されたことは、この施策の実効性を示すものである。幼稚園・こども園および小・中学校間におけるさらなる共通理解を図り、新たな取組を生み出す情報源として定着してきた手ごたえが、報告書から感じられることは喜ばしい。

具体施策「道徳教育の充実」において、道徳教育推進教師と次年度道徳計画訪問開催校の教職員に向けた研修がなされたことは、教育委員会として重点をおいて進めたいという意向を具現化したものである。また、望ましい人間関係を築く力が向上できるように、「1家庭1ボランティア」の取組も進められており、これも目指す子ども像の実現に向けての精力的な取組として評価したい。こうした地道で継続的な取組こそが、道徳教育の充実のためには必要である。

具体施策「学校図書館の充実」については、全ての学校に学校図書支援員を配置し、中学校区で連携しながら学校図書館の環境整備を進めている。学校図書館整備は、教員の勤務状況を考えた時、一教員が担当して充実させることは到底できない。この意味からも、学校図書支援員を配置したことは良策で、実質的に機能する図書館づくりへの大きな足掛かりになると捉えている。また、学校図書館と土岐市電子図書館の貸出しに関わる手続きを、各校で同一のバーコードでできるようにしたことは、学校DXが推奨されている今、的を射た取組である。

具体施策「体力づくりの充実」において特筆すべきことは、全小学校3・4年生を対象とした「アクティブ・チャイルド・プログラム」授業を取り入れたことである。本来、学びは子どもが主体的に関わってこそ身に付くものである。体力づくりについても同様で、子どもが自ら楽しみながら取り組むことが大切である。この「アクティブ・チャイルド・プログラム」は、子どもの発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムであり、今年度の取組を契機として、全学年に広がっていくことを期待したい。

具体施策「健康教育の推進」においては、コロナ禍を経験したことで、感染症への認識と対応力を高め、心身が健康であることの喜びを体感するなど、まさに「生きる」ことの重要性を知らしめたと言っても過言ではない。このことを踏まえての実績が示されていること、今後は、教科等における保健学習や特別活動における保健指導との関連を図っていくなどの方向性が示されていることにも着目しておきたい。

具体施策「食育の推進」の項では、7つの実績が示されている。どの事柄も秀逸で、昨年度に引き続き、栄養教諭の教室訪問が151クラスでなされたこと、担任及び教科担任と連携した食に関する指導が79回実施されたなど、数値的に見ても素晴らしいことである。また、「と

きげんきっ子給食事業」では、子どもたちが食への興味関心を高め、自ら健康に過ごすための食生活を考える良い機会を提供している。事業継続を踏まえ、給食や資料など媒体の効果的活用も考えていきたいとの方向性も示されていることは、この新規事業の成果があった証である。

具体施策「安全で確実なアレルギー対応食の提供」については、アレルギー対応食の提供が、給食実施日 201 日の中で 145 日に及んでいる。まさに、給食における安全確保を第一に考え、実施された関係者の尽力の結果を表すもので、施策の確実な実施（A評価）を物語る数値である。

#### ④教職員の資質・指導力の向上

「各種主任研修会」は感染症対策を講じて実施された。「サマーセミナー」及び「教職員パワーアップ講座」については、感染症対策を講じながら内容に応じて参集型及びオンラインで実施された。学力向上推進委員会では、土岐市スタンダード授業にかかわる授業改善の力点が検討され、「終末の姿の具体化と課題提示の工夫改善」に重点を置いた授業が市内全小中学校で実施されている。広報誌「教育とき」は、幼稚園・小中学校職員、教育関係機関に2ヶ月に一度紙媒体による配付とタブレット端末への配信がされた。各校の教育実践や研究活動等が様々な機会を通し広く紹介され、情報発信と共有が確実になされている。これら教職員の資質・能力の向上を図る積極的な取り組みにより、教職員の学びを促し、教育実践力を着実に高めている。

教職員の働き方についての意識を改革し、働きがいのある職場づくりを推進することを通して、子どもと向き合う時間を十分に確保できるよう教職員一人一人のタイムマネジメント能力の向上に努める必要がある。各校で管理職を中心に働き方改革を推進し、退校時間の19時を過ぎるときには、事前に申請を出すことにしている。また、時間外在校等時間が月45時間を超えた場合は、管理職との面談のもと事後検証がされている。職員一人一人の勤務時間に対する意識の高まりが見られ、時間外在校等時間が月45時間以上の職員の割合が小中平均16.9パーセントになったことは評価できる。教職員の負担を軽減するため、業務改善を図るとともにスクールサポートスタッフや学習指導員の効果的な活用を今後さらに期待したい。

#### ⑤安全・安心な教育と体制の整備・充実

児童生徒が安心して学習や生活を行うことのできる施設環境を確保し、教育内容・方法の多様化へ対応するための施設機能を備えることが必要であり、「教育環境の整備・充実」は行政として極めて重要な課題である。

貴市においては、安全・安心な教育と体制の整備・充実を図るために、「不登校の未然防止と迅速で組織的な対応」「いじめ等の問題行動の未然防止と早期発見・早期対応の徹底」「教育相談体制の充実」「学校施設の整備・充実」等を基本施策として掲げ、積極的に推進されている。

各校において、児童生徒に寄り添い、スクールカウンセラー等や子どもと関わる関係諸機関との連携を常に図りながら、個々の実情に適した支援に努めていることは大いに評価できる。欠席が長期化している児童生徒に対する家庭への支援や、不登校児童生徒や不適応児童生徒に対する学習支援の在り方について具体的な取組を期待したい。

小中学校の児童生徒に一人一台のタブレット型端末を導入したことを受け、そのさらなる有効活用を図るために授業支援ソフト「ロイノート」を導入したり、全普通教室にプロジェクター又は大型テレビを導入したりしている。さらに土岐市 ICT 企画委員会および推進連絡会を年間6回開催し、より子どもの興味・関心を高め、子どもたちが分かりやすい授業の実現を目指すために協議・調整をしている。令和5年度版教職員向け指導の手引書も作成された。タブレット等の ICT を活用した教育の推進、情報活用能力の伸張を図るために必要な機器や機材の導入・整備を続けていくことにより、さらなる教育環境の充実を期待したい。

地域とともにある学校づくりを推進するために、市内全小・中学校に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクール化が図られた。さらにコミュニティ・スクールアドバイザー派遣事業を実施し、助言をもとにコミュニティ・スクールを推進することができた。また、学校運営協議会について、学校運営協議会実践交流会を実施し、委員による熟議の場が設けられた。学校を支援する活動が充実してきており、家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進を今後とも大切にしていきたい。

貴市では、幼児の教育環境の充実に力を入れており、すべての公立幼稚園で3～5歳児を受け入れる体制を整え、認定こども園の整備を市全体で段階的に進めていることは大いに評価できる。泉地区においては令和5年度に認定こども園を開園することができた。幼児教育のニーズに応える施設整備が進められている。

## 基本目標2 【支え合い】

家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる

2023年1月、政府より異次元の少子化対策が表明されるほど少子化は、大きな社会問題となっている。また、家庭における子どもの虐待や保護者の社会的孤立等の課題も大きくなりつつあり、子どもの最善の利益の保障とともに、子育て世代が安心して妊娠・出産・子育てができるように地域全体で環境づくりをすることは急務である。

今年度、5月には新型コロナウイルス感染症の5類への移行措置が行われ、ここ数年子育て支援や地域における生涯にわたる学びの場の提供が縮小を余儀なくされてきた状況が改善されつつある。こうした状況を踏まえ、今一度、誰もが生涯を通じて学び続けたり、その時期に応じた学びを獲得したりすることができるよう家庭、地域、学校と行政が一体となり、切れ目のない連携と支援を行うことが重要である。



そのような状況のなかで、貴市の第2次教育振興計画「夢・絆プラン」においては、基本目標2【支え合い】として、7つの基本施策で、上記の課題に対応すべく、意図的、継続的に施策の展開を図ってきている。施策の柱立てや基本施策・具体施策は的確であり、コロナ禍での経験や知見を生かしながら、今一度、施策の効果と本来の目的に立ち返り、より充実した施策となるように期待したいところである。

基本施策2-1『家庭教育を学ぶ機会の充実』では、具体施策として3歳児までの子どもと親を対象とした「あすなろ家庭通信」の発送とHPへの掲載や市民から好評を得ている乳幼児教室「てくてく」の実施は大いに評価できるものである。今後は、他部署との連携や父親の参加を促したりするなど、より発展拡充を期待したい。

基本施策2-3『青少年の健全育成の推進』では、3年ぶりの土岐市青少年市民会議総会の開催やジュニアリーダー活動への講師派遣、「二十歳を祝う会」の開催など、青少年健全育成に必要な資質・能力の育成とその年代でしか体験できない貴重な場を大切にしようとする姿勢は、評価できるものである。

基本施策2-5『公民館等を活用した生涯学習の推進』では、今年度も市民大学講座の実施を積極的に行い、毎回定員を超える応募があるなど、その努力が成果となって結びついていく点は高く評価したい。また、公民館主催の講座においては、市民のニーズに合った多様な講座を展開し、誰もが安心して学ぶ環境づくりが着実に創り出されている。

基本施策2-6『地域の教育力の向上と絆づくりの推進』では、「土岐ふるさと塾」を年間3回開催し、子供たちに土岐のよさを学ぶ体験を位置づけていることは、郷土愛の醸成の点においてもとても価値があることである。しかし、参加人数が少ない現状を考慮すると、さらに、子供たちにとって内容が魅力的なものとなるようにしていく等の改善も必要である。

基本施策2-7『図書館を活用した生涯学習の充実』については、「とき読書っこクラブ」の募集や子ども司書講座の実施など魅力的な活動を展開している点を大いに評価したい。合わせて、図書館司書による14回の絵本の出張読み聞かせや小学校、高等学校6校、12の放課後児童教室への配本等、地道な活動を継続することで幼児期から学童期、青年期に向けた読書活動の推進していることは、貢献が大きいと言える。

最後に、基本目標2にある家庭や地域と学校が連携し、誰もが学び続け、活躍できる【支え合い】の推進は、新型コロナウイルス感染症の流行の経験を通して、改めてどんな状況においても重要なことであることとの認識が得られたのではないかと考える。

そこで、本来の目的に立ち返り、たとえICT等を活用しても人と人とが温もりや温かみのある関係性の中でつながり、輝いていくことのできる施策が大切であり、今後も積極的に推進していくことを期待する。生涯学習の中でも、その年代、その時期にしか学べないこと、必要とされることがあり、今一度その観点から、全ての人の健全な成長に大切なことを吟味し、個別の状況に応じた情報提供をするための余念のない取組を今後も期待したい。

### 基本目標3 【いきがい】

ふるさとを大切に、生きる喜びを感じる

貴市教育委員会のこれまでの「夢・絆プラン」では、大項目2「教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進」の中に「③文化芸術活動の推進④スポーツの推進」とされていた項目が、第二次基本計画では、文化スポーツ課ご担当の分野の「基本目標3『いきがい』」として掲げられ、独立した取組になった。文化芸術とスポーツが「いきがい」としてより焦点化され、明確にされている。貴市が「いきがい」をどのように捉え、どのような取組を進めて目標を達成していくのかが分かり易い。老若男女、年代を問わず多くの市民が「いきがい」を求めているのは当然であり、行政の取組次第で市民それぞれの生き方が変わってくると言っても過言ではない。特に、子どもたちに対して様々な分野の文化芸術とスポーツへ取り組む機会を与えていくことは、若い世代の「いきがい」をさらに大きく広げていくことに繋がると思われる。今後の展開にますます期待が膨らむ。

人を集めて実施されることで成立する企画が多く、屋内で実施されることも多い文化芸術については、令和3年度ではコロナ禍のため大きく打撃を受けた分野のひとつであったが、「大前光市トーク&ダンスパフォーマンス」、「佐渡裕指揮シエナウインドオーケストラ演奏会」、「セントラル愛知交響楽団管弦楽アンサンブルによるアウトリーチ公演」など、ウィズコロナ状況での文化芸術振興事業が実施できたことは評価されることである。また、スポーツ面においても、体験型イベントであるスポーツフェスティバルを開催し、スポーツに親しむ機会を創出することができた。市民スポーツ大会では、コロナ禍にあっても、実施可能な内容に変更し開催することができた。ウィズコロナ状況での開催のあり方を調査・研究に努め、現場で目標達成に奮闘されているご担当の方々の姿が伝わってくる。

文化財の保存・活用・保護の推進や郷土の歴史・文化の継承においては、各種団体と連携するとともに交付金交付など活動を支援し、大坪地区史跡保存会が第37回二宮文化賞を受賞された。

動画配信などにみられるホームページの充実は、コロナ禍の中においても積極的に取り組まれた成果であり、市内に限らずより多くの人々に情報発信がされていることは大変価値あることだと評価したい。文化、歴史、スポーツ等、様々な分野の動画が「土岐市公式YouTube」として配信されている。昨年度は、「妻木城跡」、国指定史跡「元屋敷陶器窯跡」、「暮雪庵」がアップロードされた。また、美濃陶磁歴史館のバーチャルミュージアム公開をはじめ企画展の開催など、美濃焼の歴史や郷土の歴史・文化に対する関心を高めさせることができた。

貴市におかれては、コロナ禍の中での事業推進に向けた取組は高い評価に値する。また、これまでも高い情報発信力をもって様々な情報提供を進められてきたことが、事業推進に大きく影響していることと思われる。今後も、発信しようとする情報を誰に向けるのか、どうしたら受け取る側にできるだけ分かり易い方法で伝えることができるのかを検討され、より多くの市民に「いきがい」を持ってもらえることができる業推推進を望む。

評価報告書にもあるように、今後ともウィズコロナの状況下でどのような事業展開が可能なかを検討していくことが重要課題であると思われる。昨年度の成果を生かすとともに、今後の課題や方向性を地道に検討し、市民の大きな期待に応えていただければと思う。



土岐市教育委員会マスコット・キャラクター  
「とき丸」

教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書  
(令和4年度実績)

発行日／令和5年9月

編集発行／土岐市教育委員会 教育総務課

〒509-5192

岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101番地

電話番号：0572-54-1111 (代表)

E-mail: edu@city.toki.lg.jp